



# 読み書きに関する 簡易アセスメント



# 目次

はじめに	(2)
------	-----

## チェックリストの項目と留意点

読みについて	(3)
書きについて	(4)
語彙について	(5)
聞き取りの力について	(6)
運筆力について	(7)

## 簡易アセスメント

ひらがな単語の読み書き確認	(8)
カタカナ単語の読み書き確認	(9)
ひらがな文章：助詞の読み書き確認	(10)
ひらがな文章の読み：内容理解の確認聞き取りの力について	(11)

読み書きについてのチェックリスト	(12)
------------------	------

## はじめに

特定非営利活動法人発達障害療育センターでは、WAMの平成23年度社会福祉振興助成事業において児童の読み書きについての特徴を簡易に把握できるチェックリストを開発しました。このチェックリストは読み書き支援ソフト「ことばのがくしゅう」を進めていくに当たり、進め方の見当をつけるためのものです。児童の実態を印象で答えるという簡便な方法であるため、時間に制約のある教員でも、簡単に児童の実態を把握することができるというのが大きな特徴となります。

一方で、印象で答えていくと、どこにチェックするか迷う項目が出て来ると考えられます。また、WAMの平成24年度社会福祉振興助成事業における特定非営利活動法人発達障害療育センターの調査により、一部の項目においては、教員の印象と児童の実態が少し違うことが明らかになりました。

このため、より正確に児童の読み書きについての特徴を把握することができるように、チェックリストの内容に応じた簡易なアセスメント方法を開発し、ここに紹介することとしました。また、「ことばのがくしゅう」以外に、練習が必要であると思われる項目については、簡単に練習方法も示しました。

これにより、少しでも多くの児童の読み書きの実態把握と支援に役立てていただければ幸いです。

## 読みについて

読みは、印象で答えても、比較的実態と大きく変わらない項目であると考えられます。チェックリストをつける際には、以下の項目に留意してください。

### ★単語

- ・単純な読みの力（文字を音に変換する力）について評価します。
- ・文中の意味理解ができるかどうかは、この項目では評価の対象とはなりません。
- ・「読み」と「書き」の習得の程度が異なる児童が多くいるため、「書き」ができない児童であっても「読み」ができる可能性があります。

### ★文章

- ・「助詞の読み書き」については、単純な読みの力（文字を音に変換する力）について評価します（例：「私は学校へいく」「えんぴつをもつ」の「は」「へ」「を」等を正しく読むことができるか）。
- ・「文章の内容理解（読んだ文章の内容を理解しているか）」については、単純な読みの力がある児童でもできない可能性があります。
- ・「読み」と「書き」の習得の程度が異なる児童が多くいるため、「書き」ができない児童であっても「読み」ができる可能性があります。

### ★アセスメント

読みについての評定に迷うようであれば、実際に、単語や文章を読んでもらい、確かめるとよいでしょう。一例を8ページから11ページに示します。

## 書きについて

書きは、印象で答えても、比較的実態と大きく変わらない項目であると考えられます。チェックリストをつける際には、以下の項目に留意してください。

### ★単語

- ・単純な書きの力（文字を音に変換する力）について評価します。
- ・作文ができるかどうかは、この項目では評価の対象とはなりません。
- ・「読み」と「書き」の習得の程度が異なる児童が多くいるため、「読み」ができる児童であっても「書き」ができない可能性があります。

### ★文章

- ・「助詞の読み書き」については、単純な書きの力（文字を音に変換する力）について評価します（例：「私は学校へいく」「えんぴつをもつ」の「は」「へ」「を」等を正しく書くことができるか）。
- ・「自力で作文を書くことができるか」については、単純な書きの力がある児童でもできない可能性があります。
- ・「読み」と「書き」の習得の程度が異なる児童が多くいるため、「読み」ができる児童であっても「書き」ができない可能性があります。

### ★アセスメント

書きについての評定に迷うようであれば、実際に、書いてもらって確かめるとよいでしょう。以下に確かめ方の一例を示します。

#### 1) 子ども自身の名前を書いてもらう

自分の名前が書けない文字の種類（ひらがな・カタカナ）があれば、その文字の種類は書けないと判断してもよいでしょう。

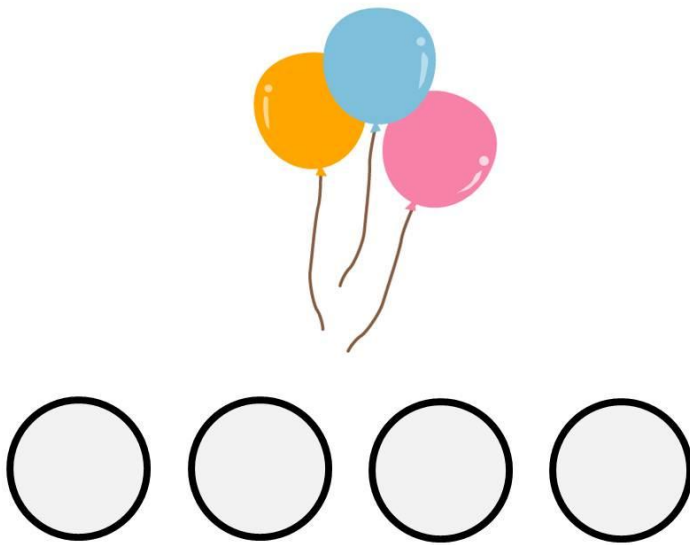
#### 2) 書き取りを行う

自分の名前で書けた文字を使って、単語や文章の書き取りを行うとよいでしょう。一例を8ページから10ページに示しますが、全部書いてもらうのは大変なので、一部だけでよいと思われます。

## 語彙について

語彙は、印象で答えても、比較的実態と大きく変わらない項目であると考えられます。しかし、時により、印象よりも、言葉を良く知っていたり、知らなかったりすることがあります。不安な場合には、教科書や図鑑に載っている言葉について、知っているかどうか尋ねたり、「●●はどれ？」と聞いて選んでもらったりするとよいでしょう。

また、以下の図のように、言葉の音の数をヒントとして、絵や写真が何であるのか尋ねてみることで、その言葉を知っているかどうか確かめるのもよいでしょう。



### 言葉を増やすために

練習方法の一つとして、児童の経験や興味・関心のあることを利用し、名前を教えてあげることなどが挙げられます。カルタやしりとり等の遊びを通して、楽しみながら言葉を増やしていくことも有効でしょう。

抽象的な言葉のうち、具体的な言葉に置き換えることができる言葉（例えば「食事」と「ごはんを食べる」など）については、日常生活では具体的な言葉の方だけ耳にして、抽象的な言い方を聞く機会が少ない可能性があります。普段聞きなれない言い方だと分からないこともあるかもしれないので、あえて色々な言い方で言ってみて、知っているかどうか確認してみてもよいかもしれません。

また、日常生活で使用頻度の低い言葉については、教科書などで少し難しい言葉が出てきたときに「この言葉知っている？」と確認してみたり、テレビの映像（選挙演説の場面など）を利用してみることも有効でしょう。まわりの大人が積極的に言葉にしていくことで、言葉の知識や使い方を身につけていくことができます。

## 聞き取りの力について

聞き取りの力は、印象と実態が異なることの多い項目であると考えられます。このため、実際に下の例などの言葉の聞き取り（復唱）をして、どれくらい正確に聞き取って発音できるのか、確かめてみるとよいでしょう。

### ★単語（促音以外）の聞き取り（復唱）の一例

くり	さみ
みかん	もこれ
しんぶんし	ふもらあ
ぎゅうにゅう	なゆぺ
ワイシャツ	ひゆし
ショベルカー	ちよてじ
おうだんほどろ	ぎへいむて

### ★単語の言葉の聞き取り（復唱）の一例

ねこ	こぶ
ねっこ	こっぶ
きて	らば
きって	らっぱ
まくら	ばしゃ
まっくら	ばっしゃ

### ★文章の聞き取り（復唱）の一例

えいがかんへ いく  
あきは やきいもが おいしい  
わたしは がっこうへ いきます  
うみへ およぎに いきます  
わたしは はやおきを した  
えんぴつを ふでばこに いれます  
たいいくの じかんに なわとびを しました

## 運筆力（鉛筆を思い通りに動かせるかどうか）

運筆力は、印象で答えても、比較的実態と大きく変わらない項目であると考えられます。しかし、視知覚（単純な形態や模様を分析する力）により、文字を正しく書けない場合もあります。このため、運筆・視知覚の両方を把握する必要があります。

### 運筆力

運筆力（鉛筆を思い通りに動かせるかどうか）は、迷路などで、壁にぶつからずに線を引けるかを調べることで、ある程度把握することができます。また運筆の練習としても迷路を活用できます。速くゴールすることを目標とせず、壁にぶつからないようにすることを目標とすることで、細かい鉛筆の動きを調節する練習ができます。はじめは幅の太い迷路から初めて、少しずつ幅が狭く難易度の高いものに移行していくなどの工夫も有効です。このような遊びを通して、筆圧のバランスをうまく身につけていくことで、書字の負担を減らすことができます。

### 視知覚

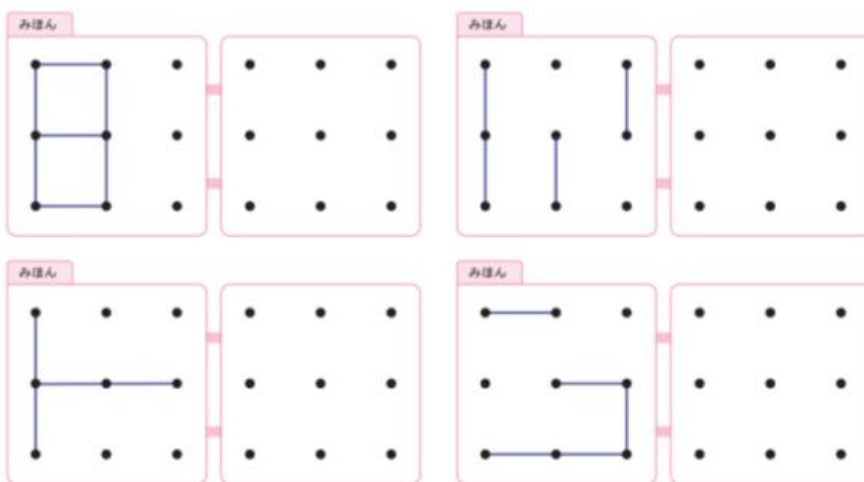
視知覚（単純な形態や模様を分析する力）は、以下のような点描写のプリントで、点と線の関係を正しく把握して同じように模写することができるかどうかで、ある程度把握することができます。また、視知覚の練習にも点描写のプリントを活用することができます。簡単なものから初めて、徐々に難易度をあげていくとよいでしょう。

点と線の関係を正しく理解できるようになると、文字を書く際にも、文字の画と画の関係などを把握し、バランス良く書けるようになると考えられます。

てんびょうしゅ (1)

がっ	にち	なま
----	----	----

てんを つないで、みほんとおなじ かたちをかきましょう。



プリントは、幼児の素材館 (<http://happyilac.net/kisetsu-sozai.html>) にある「図形・点描写・積み木問題」のうちの、「点描写（点図形）ミニ-1」より転載。

かき

おんぷ

いえ

たんぽぽ

たぬき

きゅうり

かもめ

しょうゆ

ふうせん

じしゃく

ようかん

ちょうちよ

だいこん

ねっこ

すべりだい

はっぱ

みずたまり

せっけん



イカ

ラッコ

ワニ

ヨット

アイロン

クッキー

トナカイ

チューリップ

ポスト

ピーナッツ

ピエロ

サーカス

ペンギン

カンガルー

プレゼント

チョコレート

キャラメル

ショベルカー

えいがかんへ いく

あきは やきいもが おいしい

わたしは がっこうへ いきます

うみへ およぎに いきます

わたしは はやおきを した

えんぴつを ふでばこに 入れます

たいいくの じかんに なわとびを  
しました

ゆきちゃんは、あめの ひが だいすき  
です。きのう、ひさしぶりに あめが  
ふりました。ゆきちゃんは、ながぐつを  
はいて、こうえんへ でかけました。  
こうえんでは、ともだちと いっしょに  
どろんこ あそびを しました。

### 質問内容の例：

この話に出てくる登場人物はだれ？

いつの話か？

どこへ出かけたか？

なにをしたのか？

児童名 \_\_\_\_\_ (学年 \_\_\_\_\_) 記入者 \_\_\_\_\_ 記入年月日 \_\_\_\_\_

### 読み書きについてのチェックリスト

\*このチェックリストは「ことばのがくしゅう」を進めていくに当たり、進め方の見当をつけるためのものです。

\*実際の「ことばのがくしゅう」進め方は、実際の児童の様子をみながら、適宜修正していくことになります。

\*このため、厳密につけなくてはいけないというものではないので、印象でお答えください。

(注)「読み」と「書き」の習得の程度が異なる児童が多くいます。そのため、別々の評定をお願いします。

#### 「ひらがな」の読み書き ☆文中の意味理解は関係なく、単語の読み書きの力について

		読み					書き				
		◎	○	△	×	不明	◎	○	△	×	不明
清音	清音・撥音の言葉 (例:みかん) :あいうえお表の「を」以外の 45 個の文字	できる	ある程度 できる	少し できる	できない	分からない	できる	ある程度 できる	少し できる	できない	分からない
特殊 音節	濁音・半濁音を含む言葉(例:ぱんだ)	できる	ある程度 できる	少し できる	できない	分からない	できる	ある程度 できる	少し できる	できない	分からない
	拗音を含む言葉(例:きゅうり)	できる	ある程度 できる	少し できる	できない	分からない	できる	ある程度 できる	少し できる	できない	分からない
	促音を含む言葉(例:がっこう)	できる	ある程度 できる	少し できる	できない	分からない	できる	ある程度 できる	少し できる	できない	分からない
その他	不規則な読みと書きの対応の言葉 例:[書き]ふうせん&[読み]ふーせん [書き]ひこうき&[書き]ひこおき 等	X					できる	ある程度 できる	少し できる	できない	分からない

#### 「カタカナ」の読み書き ☆文中の意味理解は関係なく、単語の読み書きの力について

		読み					書き				
		◎	○	△	×	不明	◎	○	△	×	不明
清音	清音・撥音の言葉 (例:メロン) :アイウエオ表の「ヲ」以外の 45 個の文字	できる	ある程度 できる	少し できる	できない	分からない	できる	ある程度 できる	少し できる	できない	分からない
特殊 音節	濁音・半濁音を含む言葉(例:パンダ)	できる	ある程度 できる	少し できる	できない	分からない	できる	ある程度 できる	少し できる	できない	分からない
	拗音を含む言葉(例:キュウリ)	できる	ある程度 できる	少し できる	できない	分からない	できる	ある程度 できる	少し できる	できない	分からない
	促音を含む言葉(例:コロッケ)	できる	ある程度 できる	少し できる	できない	分からない	できる	ある程度 できる	少し できる	できない	分からない
その他	不規則な読みと書きの対応の言葉 例:[書き]クッキー&[読み]クッキイ [書き]フルーツ&[書き]フルウツ 等	X					できる	ある程度 できる	少し できる	できない	分からない

「文章」の読み書き

	読み					書き				
	◎	○	△	×	不明	◎	○	△	×	不明
助詞の読み書き 例:「私は学校へいく」「えんぴつをもつ」の 「は」「へ」「を」等を正しく読んだり書いたりできるか	できる	ある程度 できる	少し できる	できない	分からない	できる	ある程度 できる	少し できる	できない	分からない
文章の内容理解 (読んだ文章の内容を理解しているか)	できる	ある程度 できる	少し できる	できない	分からない	<del>この欄は読みと書きの区別をなくして統合された評価を行うため、読みと書きの区別がなくなり、読みと書きの両方に対する評価が適用される。</del>				
経験した出来事の詳細について 自力で作文を書くことができるか	<del>この欄は読みと書きの区別をなくして統合された評価を行うため、読みと書きの区別がなくなり、読みと書きの両方に対する評価が適用される。</del>					できる	ある程度 できる	少し できる	できない	分からない

その他

	◎	○	△	×	不明
知っている言葉の数(語彙力)	できる	ある程度 できる	少し できる	できない	分からない
言葉の聞き取りの力(促音除く) :「ぎゃうぼ」などの無意味語や、「しんぶんし」などの 長い言葉を聞き取って正確に言うことができるか	できる	ある程度 できる	少し できる	できない	分からない
促音を含む言葉の聞き取りの力 :「きって」と「きて」などの言葉の中の 無音区間の違いを聞き分けることができるか	できる	ある程度 できる	少し できる	できない	分からない
文章の聞き取りの力 :文章を文末まで正確に聞き取って言うことができるか	できる	ある程度 できる	少し できる	できない	分からない
鉛筆を思い通りに動かせるかどうか(運筆力) :迷路等を壁からはみ出さずにできるか	できる	ある程度 できる	少し できる	できない	分からない

**-MEMO-**

●本アイデア集に掲載しているイラストは以下のものを利用しました。

・「無料イラスト【イラストわんパグ】POP でかわいいイラスト集」の無料イラスト  
(<http://www.wanpug.com/>)

## 刊行年月

平成 25 年 4 月

## 作成

特定非営利活動法人 発達障害療育センター

## 研究協力

広島市教育委員会

## 監修

正高 信男（特定非営利活動法人 発達障害療育センター 理事長）

村田(福島)美和（特定非営利活動法人 発達障害療育センター 副理事長）

伊藤 祐康（特定非営利活動法人 発達障害療育センター 理事）

田村 綾菜（特定非営利活動法人 発達障害療育センター 理事）

## 執筆

小川 詩乃

井田 美沙子